

8.交通安全・災害防除・沿道環境・電線共同溝

交通安全施設等整備事業

既存道路において、事故が多発し、緊急に交通安全を確保する必要がある箇所について、公安委員会と連携し、交通安全施設等を整備していきます。

- 歩道、交差点改良、自転車利用環境等
- 道路標識、防護柵、道路照明、視線誘導標等

基本方針

- ① 幹線道路の事故削減対策の科学的、集中的実施
- ② 生活道路を中心とした歩行者・自転車安全対策の総合的实施
- ③ 通学路における歩道整備の推進

主要施策

■ 事故危険箇所での集中的対策

幹線道路の安全対策を効率的・効果的に進めるため、特に事故率の高い事故危険箇所において、交差点改良等の事故削減対策を集中的に実施します。

■ あんしん歩行エリアの整備

市街地内の事故発生割合の高い地区において、歩行者等の通行経路の安全性が、歩行者等を優先する道路構造等によって確保されたあんしん歩行エリアの整備を推進します。



交通安全施設等整備事業 (交差点改良: 県道47号線 那覇市東町)



災害防除事業 (南風原知念線)

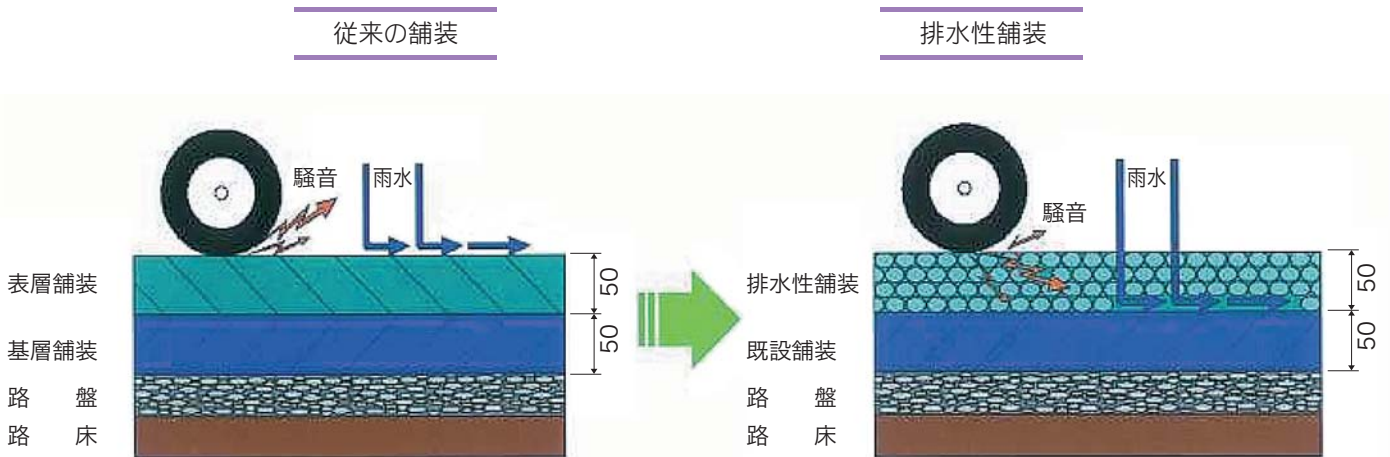
災害防除事業

- 法面の崩壊等、危険な兆候をきたしている箇所について対策を行います。

沿道環境改善事業

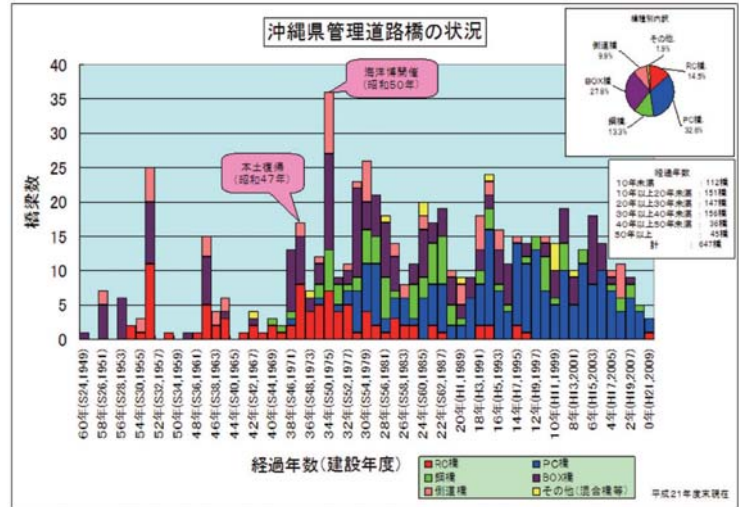
自動車騒音などの沿道への影響を改善するために、低騒音舗装(排水性舗装)の整備を行っています。

- 整備路線
宜野湾北中城線、宜野湾南風原線



道路橋の計画的な維持管理の推進

これまでに整備された多くの道路橋は、老朽化や塩害等による劣化損傷が発生しており、近い将来に修繕や更新費が飛躍的に増加することが大きな課題となっています。道路橋については、優先度を検討して予算の平準化と長寿命化を図るため計画的な維持管理の取り組みを進めています。



橋りょう補修事業

橋梁の老朽化や塩害等による劣化損傷が原因の崩落事故を未然に防ぐとともに、大規模地震等においても限定的な損傷にとどめ、落橋や倒壊などの大きな損傷を防ぐことを目的として、安全で信頼性の高い道路ネットワークを確保するため、橋梁の損傷箇所の補修と古い基準で設計された橋梁の桁の落下防止対策や橋脚の補強など、橋梁の耐震補強を推進しています。



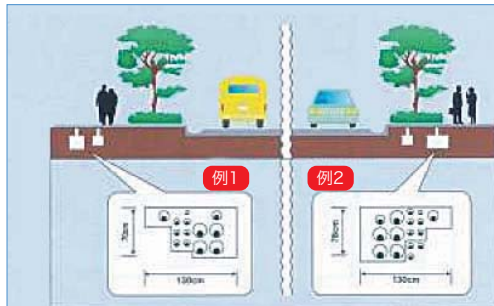
無電柱化推進事業

道路の地下空間を利用して、2つ以上の電線類(光ファイバーや電力、通信線)を共同に収容する施設を電線共同溝と呼び「C・C・BOX」と名付けています。C・C・BOXの最初のCに“Community”(地域・共同)や“Communication”(通信伝達)“Compact”(コンパクト)の意味が込められています。2番目のCは、“Cable”(ケーブル)の頭文字です。電線共同溝「C・C・BOX」は、平成7年6月に施行された「電線共同溝の整備に関する特別措置法」に基づき道路管理者が整備します。

安全で快適な歩道空間の確保、都市災害の防止、情報ネットワークの信頼性の向上、都市景観の向上等を目的として、整備を進めていきます。

●整備路線

国道507号、国道390号、国道330号、県道39号線、市場通り線、下里通り線、平良城辺線



電線共同溝(C・C・BOX)の構造の一例



電線共同溝整備事業(国際通り)

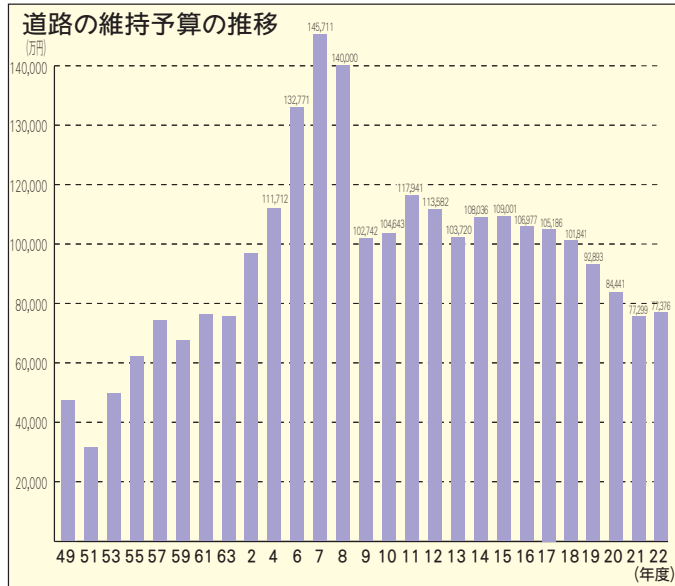
9.道路の維持管理

本県は、亜熱帯性気候の特性から、路肩、法面等の雑草の成長が著しく、また、急速なモータリゼーションの進展に伴う交通量の増大、車両の大型化によって路面の損傷が著しくなっています。このため県では、道路を常に安全で良好な状態に維持するため、道路パトロール、路肩の除草、路面の清掃、補修等を行い、歩行者の交通事故防止と車両の安全通行、道路環境の保全に日々努力しています。

近年、道路の維持予算は財政難の状況から毎年減少してきており、適正な維持管理を確保するには苦しい状況にあります。道路植栽等の管理において地域住民の道路ボランティアを募り、それに対して県が支援・助成を行っているところです。平成22年9月現在、ボランティア数254団体、参加者数5,903人となっております。



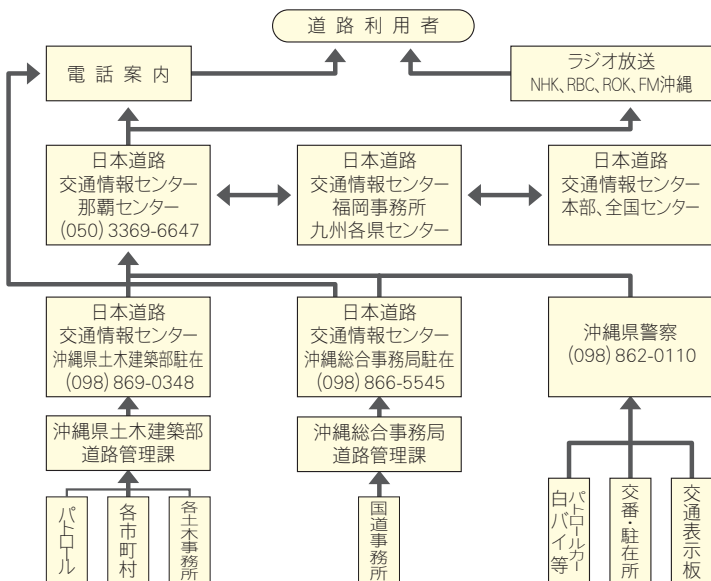
ボランティアによる植栽管理



道路パトロール

道路の整備

■ 日本道路交通情報センター



■ 道路の維持管理

- 沖縄自動車道、那覇空港自動車道 (南風原道路)
西日本高速道路株式会社 九州支社 沖縄管理事務所
- 一般国道 (指定区間)
国土交通省・内閣府 — 沖縄総合事務局
 - 北部国道事務所 ☎0980-52-4350
 - 南部国道事務所 ☎098-861-2336
- 一般国道 (指定区間外)、主要地方道、一般県道
知事 — 土木建築部 — 道路管理課 ☎098-866-2665
 - 北部土木事務所 (名護市) ☎0980-53-1787
 - 中部土木事務所 (沖縄市) ☎098-894-6512
 - 南部土木事務所 (那覇市) ☎098-867-4436
 - 宮古土木事務所 (宮古島市) ☎0980-72-2769
 - 八重山土木事務所 (石垣市) ☎0980-82-2942
- 市町村道
市町村長 — 市町村役場、建設課等

道の相談室 (相談対象は沖縄県内の国道・県道・高速道路です。)

フリーダイヤル ☎0120-106-497

FAX: 098-861-9929 [沖縄総合事務局「道の相談室」] 電子メール michi.soudan@ogb.cao.go.jp

● 以下の電話番号でも受付けています。

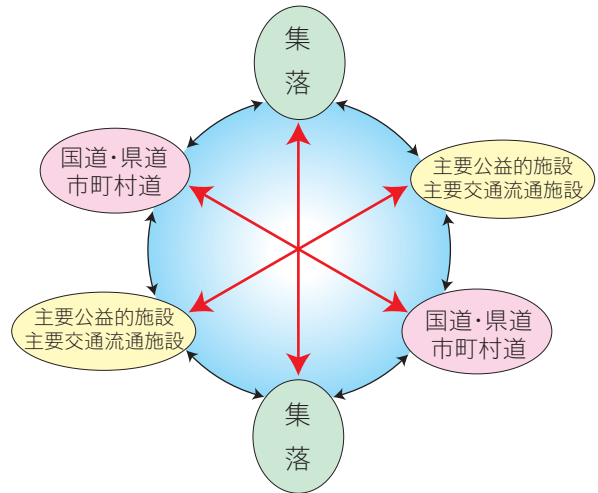
TEL 098-860-5154 [沖縄総合事務局「道の相談室」] TEL 098-866-3200 [沖縄県「道の相談室」] TEL 098-870-5852 [西日本高速道路株式会社]

受付時間: AM 9:30~PM 5:00 (但し、土・日・祝祭日・年末年始を除く。FAX、電子メールは24時間受付)

10.市町村道

私たちが住んでいる町の隅々まで行きわたっている道路で、次のような役割を担っています。

- ① 国道、県道及び市町村道を相互に連絡する道路
- ② 集落間を結ぶ道路
- ③ 空港、港湾、学校、公民館、観光地等の主要公益的施設及び主要交通流通施設の機能を効率的に発揮させる道路



市町村道事業の目的

道路改築（一般）	道路改築（過疎代行事業）
幹線市町村道の現道幅幅や線形改良またはバイパス等の整備	過疎地域における基幹的な市町村道の新設及び改築事業を道路管理者である市町村に変わり県が整備を行うもの
特殊改良	地域活力基盤創造交付金
道路の局所的な線形等が不良なため、交通傷害となっている区間の除去を行うもの	各地域の課題に対応し、複数一体となって行われる市町村道事業であり、地方の創意工夫を活かした古史的な地域づくりを推進するもの
交通安全	
交通事故の防止、歩行者等の安全で円滑な移動を確保する交通安全施設等の整備	



H22年度より統合

社会資本整備総合交付金

- ・ 地方公共団体が作成した社会資本総合整備計画に基づき、目標実現のための基幹的な社会資本整備事業のほか、関連する社会資本整備やソフト事業を総合的・一体的に支援
- ・ 国土交通省所管の地方公共団体向け個別補助金を一つの交付金に原則一括し、地方公共団体にとって自由度が高く、創意工夫を生かせる総合的な交付金

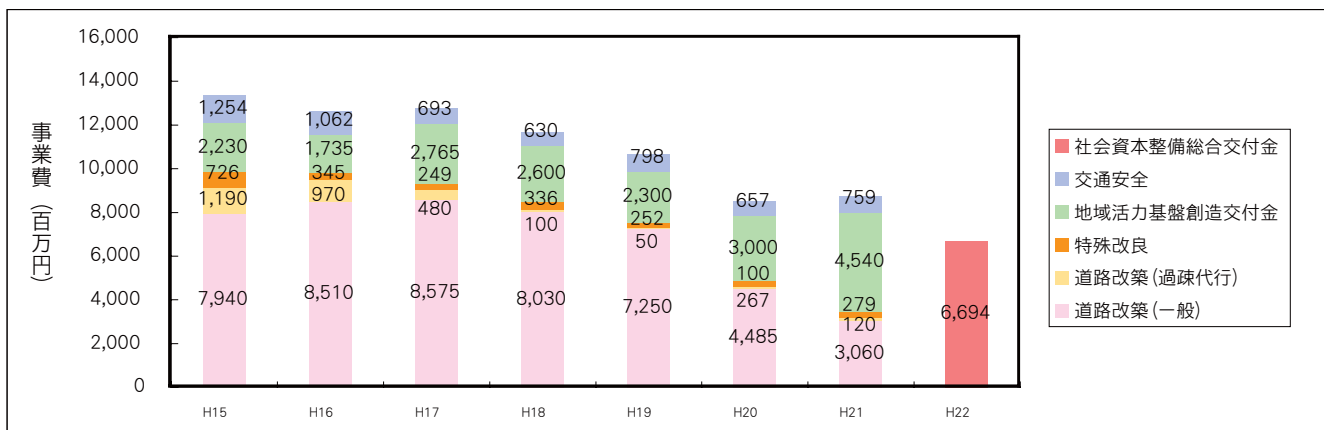
道路の整備

市町村道事業の予算推移

(単位:百万円)

工種	H15年度		H16年度		H17年度		H18年度		H19年度		H20年度		H21年度		H22年度	
	事業費	対前年度比	事業費	対前年度比	事業費	対前年度比	事業費	対前年度比	事業費	対前年度比	事業費	対前年度比	事業費	対前年度比	事業費	対前年度比
道路改築	9,856	0.865	9,825	0.997	9,304	0.947	8,466	0.910	7,552	0.892	4,852	0.642	3,459	0.713	0	0.000
道路改築（一般）	7,940	0.859	8,510	1.072	8,575	1.008	8,030	0.936	7,250	0.903	4,485	0.619	3,060	0.682	0	0.000
道路改築（過疎代行）	1,190	0.875	970	0.815	480	0.495	100	0.208	50	0.500	100	2.000	120	1.200	0	0.000
特殊改良	726	0.910	345	0.475	249	0.722	336	1.349	252	0.750	267	1.060	279	1.045	0	0.000
地域活力基盤創造交付金	2,230	0.671	1,735	0.778	2,765	1.594	2,600	0.940	2,300	0.885	3,000	1.304	4,540	1.513	0	0.000
交通安全	1,254	0.913	1,062	0.847	693	0.653	630	0.909	798	1.267	657	0.823	759	1.155	0	0.000
社会資本整備総合交付金	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000	6,694	新規
計	13,340	0.829	12,622	0.946	12,762	1.011	11,696	0.916	10,650	0.911	8,509	0.799	8,758	1.029	6,694	0.764

※ 社会資本整備総合交付金はH22新設。事業費はB、C事業含む。



11. 離島架橋

本県は、全国でも有数の離島県で、沖縄本島をはじめ、宮古島、石垣島等49の有人島があり、離島架橋については、離島における生活環境施設及び産業関連施設の立ち遅れを是正し過疎化の防止、資源の開発の上からも県政の重要な課題になっています。

今後も離島架橋を推進し、離島の産業基盤の確立、観光資源の開発、文化の交流、教育、医療、福祉の向上など地域の振興を支えます。

■ 1. 完成離島架橋

橋名	市町村名	区間	着工年度	完成年度	離島面積 (km ²)	橋長 (m)	道路種別	所管	事業主体
羽地奥武橋	名護市	本島～奥武島	S55	S56	0.25	77	県道	国交省	県
瀬底大橋	本部町	本島～瀬底島	S47	S60.2月	2.99	762	県道	国交省	県
慶留間橋	座間味村	慶留間島～外地島	S58	H元.2月	1.15～0.83	240	村道	国交省	県
池間大橋	宮古島市	宮古島～池間島	S56	H4.2月	2.83	1,425・99	県道	国交省	県
屋我地大橋	名護市	屋我地島～奥武島	S63	H5.3月	7.77	300	県道	国交省	県
浜比嘉大橋	うるま市	平安座島～浜比嘉島	S63	H9.2月	5.13～2.04	900	県道	国交省	県
世開橋	うるま市	本島～平安座島	H7	H10.1月	5.13	96	県道	国交省	県
平安座海中大橋	うるま市	本島～平安座島	H3	H10.3月	5.13	280	県道	国交省	県
阿嘉大橋	座間味村	阿嘉島～慶留間島	H1	H10.5月	3.82～1.15	530	村道	国交省	県
野甫大橋	伊平屋村	伊平屋島～野甫島	H11	H16.3月	20.57～1.06	320	県道	国交省	県
古宇利大橋	今帰仁村～名護市	屋我地島～古宇利島	H5	H17.2月	3.12	1,960	県道	国交省	県

■ 2. 事業中離島架橋

橋名	市町村名	区間	着工年度	完成年度	離島面積 (km ²)	橋長 (m)	道路種別	所管	事業主体
ワルミ大橋	名護市～今帰仁村	本島～屋我地島	H11	H22	7.77	315	県道	国交省	県
伊良部大橋	宮古島市	宮古島～伊良部島	H13	H24	29.05	3,540	県道	国交省	県



(仮称)伊良部大橋完成予想図

道路の整備

12. 沖縄都市モノレール

交通渋滞を緩和し、健全な都市機能の維持、発展を図るため、定時定速性を確保できる沖縄都市モノレールが平成15年8月10日に開業しました。

開業から7年目を目前にした平成22年7月には乗客数が9,000万人に達し、県民、観光客の足として定着しています。今後も他の交通機関との結節機能充実を図り、更なる需要喚起を行います。

また、当初計画より位置づけられている沖縄自動車道との結節による、新たな公共交通基幹軸の構築に向けて、沖縄都市モノレール延長検討委員会で推奨されたルートにて、事業化に向けた調査・設計を行っています。

モノレール 路線計画図

